



【今回の学校よりも、電子媒体でのみの配信となります。児童用には教室に先生方が掲示していただいています。(_)_】

平和への祈りをこめて ～平和学習8. 6平和学習8. 9をおこないました～



今から80年前の1945年8月6日と9日の第二次

世界大戦の最中に、広島と長崎に種類の違う2発の原子爆弾が落とされました。8月6日に広島に落とされたのは、ウラン原爆。8月9日に長崎に落とされたものはプルトニウム原爆です。

核兵器が実戦で使用されたのは、世界でもこの2都市だ

けです。

アメリカ軍の爆撃機が広島・長崎の市街地に投下した原子爆弾は、街を焼き尽くし、一瞬にして多くの市民を殺傷しました。

原爆の特徴の一つは、爆発の瞬間に膨大なエネルギーが放出されることで大きな破壊力があるということ。

そして、もう一つの特徴は、爆発時に大量の放射線を浴びることで、その後長年に渡る人体への影響で、いつまでも苦しめられるということ。一瞬にして広島でおよそ14万人長崎で7万人計21万人の方々の命

が失われました。(20255月読売新聞)爆撃を免れた人でも、被爆地で親族を探したりした人たちが、後に被爆の影響で健康を害したり、亡くなったりしています。

また、原爆投下から80年経った今でも「被爆の後遺症」を患う人がいるのです。

2発の原爆による死者数は、正確にはわかっていないものの、広島・長崎の2市が作成している「原爆死没者名簿」に記載されている人数は、広島32万8,929名、長崎18万9,163人の合計51万8,092人。(この数字は、4年前の2021年8月時点の統計ですので被爆の後遺症で亡くなる方は毎年、その数が増加しています。) 2022年1月の段階で、世界9カ国で1万2,705基の核兵器が所有されていると言われています。

日本は、世界で唯一の被爆国です。かつての悲劇を繰り返さないために、今、私たちは何をすべきなのでしょう。世界では国と国との戦争が実際に起こっていて、命を失う人が数多くいます。そのような中、1年前の2024年に日本原水爆被害者団体協議会(日本被団協)にノーベル平和賞が授与されました。7月23日夕刊の毎日新聞にはこう書かれています。《ノーベル賞を授与したノルウェー・ノーベル賞委員会のヨルゲン・バトネ・フリードネス委員長が7月23日(水曜日)に、長崎市を訪れました。同委員長は長崎訪問は初めてです。フリードネス氏は「被爆者が体験を語ってくれる今こそ、若い人たちは何が起きたのかを学び、世界に発信してほしい」と述べた。さらに、フリードネス委員長は、「被団協代表委員で、長崎で被爆した田中 照日(てるみ)さん(93)をはじめ被爆者はその人生を世界に示してくれた。世界中の人たちが一度、広島、長崎に来るべきだ」と強調されました。田中さんは「私たちは二度と被爆者を作らないために闘ってきた。世界情勢は厳しく、核が使われてもおかしくない。世界中の人たちが『核兵器が使われたらどうなるのか』を被爆者の話を聴いて考えてほしいと応じられた。》

そこで本校は、飯塚市のお住いであり、80年前に長崎で被爆された経験をお持ちで、約40年前に私の指導教員であられた先輩教師の「荒木幸子先生」をお招きして過去3年間6年生を対象に被爆体験のお話をしていただいていた。4年目の今年は、体調を考え私が事前にインタビューさせていただき被爆体験をされた語り部の「荒木幸子先生」に全校児童に向けてメッセージをいただきましたので、全校児童で「荒木幸子先生の平和へのメッセージ」を聴くことができました。子ども達の心に刻まれた、平和の尊さと子ども達が今持っている命の尊さをしっかり胸に秘めて未来へ進んでほしいなと思っています。追伸：日本被団協委員で私の恩師の「荒木幸子先生」の約20分のインタビューダイアログで、子ども達に期待することを最後にプレゼントとしていただけたお言葉をご紹介します。荒木幸子先生と私と本校に関係してこられたご逝去された方々も含みますすべての先生方と子ども達と保護者の方と勇気を与えてくださった地域の方、被爆してご逝去された皆様や本通信を読んでいただいた方とを固く結び平和への誓いや決意の合言葉として心に刻んで結びといたします。p s 2 : 荒木先生、これまでの平和にむけての活動とノーベル平和賞受賞誠にありがとうございます。



80年前長崎で被爆された語り部の荒木幸子先生が昨年度に引き続き今年度は東小全校の子ども達にメッセージをくださいました。(荒木幸子先生は、昨年度ノーベル平和賞を受賞された被団協(日本原水爆被害者団体協議会)の名誉会員であります。子ども達や職員の仲間たちにおけて、平和へのメッセージをいただきありがとうございます。)(_)

6年生の皆さんによる修学旅行（平和体験活動）の報告の様子です。そして、原爆や太平洋戦争でお亡くなりになられたすべての皆様のご冥福と、これからの世界平和を願って、「折り鶴」の歌を歌いました。また、5年生の皆さんによる折り鶴製作を呼びかける全校放送のあと全校で祈りを込めて次年度に5年生が6年生になったときに長崎原爆資料館メモリアルホールに献納する「折り鶴」の製作をおこないました。

6年生・5年生をはじめ、全校児童の皆さんが真剣に、本校の先生方と一緒に「誰もが尊い」存在の「ひと」であることを考えてもらえたことを私はうれしく思います。尊い命を持ったみなさん、ありがとうございました。残りの夏休みの日々も安全に気を付けてお体を大切にお過ごしください。（. _ ）



風水害対策のための避難所運営研修を職員でおこないました。

～有村防災危機管理監様をはじめ合計5名の飯塚市役所総務部防災安全課の皆様ご指導ありがとうございました～



本校は、2学期に台風や大雨などの事前災害で避難所となった場合を想定して市役所総務部防災安全課の皆様をお招きして、避難所運営シュミレーション研修を行いました。第1避難所は、飯塚東交流センターさんではございますが、大規模な台風や自然災害は起こりうるということを心に刻んで臨みました。

防災機器管理監の有村先生は、衣・食・住・医療・保健の5つの課題だけを想定するのではなく、今は、外国からお見えの方々の受け入れ（通訳）や、ベットの受け入れ、ボランティアの受け入れ、取材への対応、要配慮者の方々への対応、避難者への情報発信等への対応も重要であるから、リーダーを各部署で育成し、交代制での把握、市本部との連携を協力してシュミレーションできたことは学校共同体・運命共同体が幸運への未来予想図描き隊の職員と行政職員の皆さんで



取り組めたことはとてもよい研修や訓練となりました。飯塚市役所総務部防災安全課の皆様・・・ご指導誠にありがとうございました。子ども達や地域の方々を守る心構えがさらに強固されたといってもおかしくないほど身も心もしまった研修であり、困難な状況だからこそ皆さん持ち前の笑顔で職員が励まし合う姿に感動した研修会でありました。前回昨年度のちょうど今日、大規模地震の避難所運営シュミレーションの基礎があったから迅速に対応し、感動のコメントをいただけたのでしょうか。我々は、人を支え続けます。さらに全ての子ども達の命を守ります。そして、私は先生方を微力ながらも全力で支えます。



8月・9月の主な行事予定&下校時刻

8月12(月)～15日(金) 飯塚市：閉庁日(閉校日)

8月25日(月) 全校出校日(学習登校日) 11:00下校

8月26日(火) 全校出校日(学習登校日) 11:00下校

9月 1日(月) 2学期始業式 11:00下校

9月 2日(火) 4校時授業給食スタート 13:15下校

9月 3日(水) 4校時授業 13:15下校

9月 4日(木) 4校時授業 13:15下校

9月 5日(金) 全校5校時授業 14:45下校

9月2日(火)のスクールランチメニューです

Fミルク!&ライムギ食パン!

ピーナッツクリーム!

チキンとジャガイモのスープ煮!

ツナとごぼうのサラダ!

(^_-)☆

うれしいな

笑顔と感動と幸せを呼ぶPTA親子活動の日程

(開催順でのお知らせ)

学年	実施日&曜日
3年生のみなさん	9月22日(月)
5年生のみなさん	10月31日(金)
6年生のみなさん	11月 7日(金)
4年生のみなさん	11月13日(木)
1年生のみなさん	11月28日(金)
2年生のみなさん	1月23日(金)

たのしみですね(^_-)☆

①本校の約40名

の先生方はどの方も同じくらいキュビナのA Iドリル活用の実践をお持ちの先生ばかりでございますが、担当の先生お二人に全国 web 会議に参加していただいております。東小の児童のほど良い頑張りや勇気と元気を全国に届けていただきます。

勇気と元気の出る
2つのお話です



わが校を代表して2名の先生方が来る8/25「キュビナ活用実践セミナー」における全国オンライン会議における事例紹介者として飯塚東小学力向上コーディネーターの平井文子先生とICT（インフォメーション・コミュニケーション・テクノロジー）教育主担当でリーダーの服部良子先生がご登壇されます。下記にウェブ上での教員向け広告チラシを掲載しております。ps本校の実践が、本校お二人の先生方を通じて全国に紹介していただき、全国の教師が互いに影響しあって全国の学校の子どもが伸びていく・・・素敵なことです。（子ども達のキャリア向上、夢や目標や職業選択肢がぐっと増えます。）

なお、福岡市の東光中学校さんは、私や古野前飯塚第2中学校の校長先生や本校の関係の先生方でキュビナのA Iドリル授業や実践事例説明会にご一緒し、視察させていただいた中学校さんです。丸2年の時を経て先輩学校と本校は、全国170以上の自治体、小中学校約2,300校の中の利用活用実績優秀校としての3校に選ばれました。また、キュビナのA Iドリルは100万人以上（キュビナ社発表数値）が利用されているとのことで、累計解答数は30億件超、7大プラットフォームによる知識・技能の習得を支援されています。2018年度から20年度まで3年連続で経済産業省「未来の教室」実証事業に採択。また「日本e-learning大賞 経済産業大臣賞」「グッドデザイン賞」を受賞しているそうです。

本校のお二人のご登壇は「飯塚市教育委員会さんからも承認済でございます。」(‘_)-☆



8月事例セミナー

キュビナ
Qubena

先生に学ぶ！ キュビナ活用実践セミナー

8/25
15:30-17:00

事例
紹介

飯塚市立飯塚東小学校
平井文子先生・服部良子先生 / 教諭
静岡市立清水辻小学校
白鳥史也先生 / 教諭
福岡市立東光中学校
小糸慎司先生 / 主幹教諭

◆プログラム（予定）ポスター原文のまま転記しています。：なお本セミナーは全国の教師受講用で、一般の方は視聴できないようです。（_）

1. デジタル教材の利用定着を図る ～活用機会の拡大～

（飯塚市立飯塚東小学校 教諭 平井文子先生・服部良子先生）

学校全体でキュビナを日常的に活用していくために、どのように活用の機会を設け、浸透させてきたのか。高活用につながる工夫についてお話しいただきます。

2. 子どもたちの主体性を伸ばす ～自由進度学習での活用～

（静岡市立清水辻小学校 教諭 白鳥史也先生）

一人ひとりのペースで学びを進める自由進度学習において、キュビナを活用し、子どもたちが自ら目標を立てて学習に取り組む姿を紹介いただきます。

3. 学習データを利活用する ～評価への活用～

（福岡市立東光中学校 主幹教諭 小糸慎司先生）

キュビナで蓄積される学習データを、日々の指導や評価にどのように活かしているかを、具体例を交えて共有いただきます。



掲示板

2



地域の皆さんからの真心の
応援メッセージともゆうべく

8・6ひがし食堂の開店

に感謝申し上げます(^_-) ☆

感謝の

MESSAGE



P. S. 「ひがし食堂」は、ひがし小の子どもさんに生活リズムの安定とコミュニケーションをめざされた素敵なおまじいさんの取り組みです。なお、決してよくありがちな困窮対策事業ではありませんことを申し述べさせていただきます。2学期もグッドモーニングスマイル全開で地域の先輩方とのふれあいにいらしてください。(^_-) ☆



ひがし食堂運営の「青少健をはじめとするまちづくり協議会の各団体代表の皆様・・・」約50名のひがし食堂ファンのお子さん達も喜んでおりました。

サフライズ臨時営業をしてくださり誠にありがとうございました(^_-)

~If they ever get you down

There's always something I can do

Because I wouldn't ever wanna see you frown

I'll always do what's best for you~♪

♪【Together Forever】

by Rick Astley : Richard Paul Astley (同い年の方)

